

火災対策

火災の 6 割以上は失火が原因で発生しています。放火を除けば、ほとんどの火災は火気の取り扱いの不注意や不始末などで起こる人災ですから、ふだんの心がけ次第で十分防げるものです。家庭や職場から危険な火ダネを取り除き、地域ぐるみで万全の防火体制を整えましょう。

火災発生！そのときどうする？

初期消火の 3 原則

1. 早く知らせる

小さな火でも 119 番に通報する。当事者は消火にあたり、近くの人に通報を頼む。

2. 早く消火する

出火から 3 分以内が消火できる限度。水や消火器だけで消そうとは思わず、座布団で火を叩く、毛布でおおうなど手近のものを活用する。

3. 早く逃げる

天井に火が燃え移ったら、いさぎよく避難する。避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。

煙に注意して避難

火災でこわいのは炎と同時に煙です。煙の成分には有毒ガス(一酸化炭素、塩化水素など)が多く含まれているため、吸い込むことで中毒死に至ったり、まひ等で避難行動ができなくなってしまうことがあります。また、煙は想像以上の速さで広がりますが、上方に上がる性質があるため、下の方が煙は薄く空気が残っている可能性があります。ぬらしたタオルやハンカチなどで口や鼻をおおい、姿勢をできるだけ低くして避難しましょう。